

会報三号

2011年4月25日

電話 075-691-7561
発行責任者 石田房一
広報編集部 松田誠二
編集部員 清水美優・西片里紗
木村亜衣・永田裕哉

印刷 (株) サイズ 075-671-8107

吉祥院六齋歴史研究会 獅子の如く

獅子の如く

吉祥院六齋念仏踊り 重要無形民俗文化財指定

協力/吉祥院六齋念仏踊り保存会、吉祥院子ども六齋運営委員会、菅原町町内会、NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク、吉祥院小学校、洛南中学校、井上工業所、㈱ダイヤ・セキュリティ・ジャパン、サイズ、㈱西建、ろばた海鮮厨房JyuJyu、清華園、パティスハウス

国の重要無形民俗文化財指定
吉祥院六齋念仏踊り



吉祥院天満宮

六齋とは、六齋念仏踊りの略称で、昔、仏教徒が齋戒奉仕し、普通月の八、十四、十五、二十三、二十九、晦日の六日間に行った宗教行事から起こり、約千年前に空也上人が民衆に信仰を広げるため京洛の街頭に立って鉦や太鼓を打ち鳴らして読経念仏を唱えて廻ったことから始まったと伝えられています。しかし室



祇園祭 町時代中期から次第に風流化し、特に能、狂言、歌舞伎などを取り入れて、娯楽性豊かな芸能となり、六齋念仏踊りに発展したと伝えられています。「戦前生まれの私も当時『昭和十五年の時』十五才で親に連れられて青年会への入会をお願いに行くのがしきたりで、茶番として使い走りにかれたものです。笛十年と言いますが、太鼓、舞い手、踊り手も五年やそこいらでは半人前、二十六、七才になって

千年の都として長い歴史と伝統をもつ京都に、我々の祖先が幾多の困難を乗り越え、現在まで守り続けた、吉祥院が誇る国の「重要無形民俗文化財」に指定された吉祥院六齋念仏踊りについて、山田実氏にお話を伺いました。

NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク理事 山田実氏

守り育てて来た伝統芸能

私も獅子舞の頭の役目をしておりました。獅子の碁盤乗逆立ちしたものです。獅子の五丁とんぼ返りのあと、獅子と土蜘蛛の戦いに、手から放たれた紙の糸、クモの巣に巻かれながら逆立ちして拍手を送る見物の人をうならせたものです。また吉祥院天満宮夏季大祭には、それぞれの六齋組が、次々と翌夜明けまで競演をして奉納したものです。戦後の昭和二十七年より三

年間円山公園音楽堂で、京の六齋念仏踊りを一堂に会して十四組の六齋コンクールで、連続第一位を独占し続けた頑張り、今日の吉祥院六齋保存会の有名な京都の夏の行事の一つとなっています。古く平安時代に空也上人によって始められたと伝えられる六齋念仏は、一千年の歴史を経て今日に伝えてきた、京都だけの伝統芸能です。「六齋念仏踊りが今日まで、なお



吉祥院いきいき市民活動センター
吉祥院六齋念仏資料室
京都の六齋念仏の資料が多数展示されています。
ぜひお出かけください。入場無料
問い合わせ
電話 (075) 691-7561まで



約40年前、吉祥院六齋保存会が向日市の地藏盆に招かれた時の写真です。緑色の獅子が懐かしさを感じます。

提供者は、中華料理「清華園」(下京区川端町11番地)の女将さんです。毎年、地藏盆に来る吉祥院六齋念仏踊りを楽しみにされていたそうです。大変貴重な写真をありがとうございました。

吉祥院いきいき市民活動センター六齋歴史資料室



継承されていることは、諸先輩が立派に守り続けてくださったことを心より有難く感謝し、また六齋保存会や研究会の皆さまの方の、努力の賜物であります。

私たちは、重要無形民俗文化財吉祥院六齋念仏踊りの「伝承・発展」を応援します。(応援する企業等を募集しています)

中華料理 清華園

〒600-8202
京都府京都市下京区川端町11番地(塩小路須原角)
☎075-351-8391
休日 月曜日

京都市府知事許可第34654号
管工事業・ボイラー・配管・溶接・施工据付工事一式
代表取締役 井上 孝司

井上工業所

〒601-8395
京都市南区吉祥院中河原西屋敷町21-1
電話・FAX (075)311-7430

サイズ広告枠

子ども六斎から学んだこと

鳥羽高校三年生 清水美優さん

六斎念仏踊りは、平安時代に空也上人が各地で人々を苦しめて疫病を鎮めるため、笛や鉦、太鼓を打ち鳴らし、踊りながら念仏を唱えたのが起こりとされ、民衆の娯楽性豊かな芸能で、市内のわずかな地域で伝承されています。

一九九六年、吉祥院子ども六斎が発足し、子どもたち自ら伝統文化財「六斎念仏踊り」を受け継ぐ活動を本格化しました。現在でも六斎の継承発展に取り組む、研究会会員の清水美優さんに様々な思い出を聞きました。



小学生の時に六斎を始め、もう十二年目になります。最初の頃の辛かった思い出は忘れられません。厳しいおっちゃんに太鼓を習い、お母さんに叱られながら、必至に練習していました。「どうしてここまでして太鼓をしなければいけないのか」と思う時もありました。でも今では、あの時辞めずに六斎を続けていて本当に良かったと思っています。

何か一つ、自分が小さい頃から頑張ってきたことがあるという事は、とても自信になっています。それに地域の人たちとの繋がりがいかに大切なことであるのか、高校生

になり、ようやく分かってきました。

幼い頃は、近所のお姉さんやお兄さんに、手を持ってもらい太鼓を叩いていましたが、今や私たちが小さい子どもたちを指導していく立場です。

その子たちが大きくなった時、次の世代へと繋いでいくように活動して欲しいと思っています。そんなことを考えるようになったのも子ども六斎に参加し、伝統の大切さを学ぶことが出来たからと感じています。

私にとって子ども六斎という場は、太鼓を練習し、お祭りで発表するだけのものではなく、仲間との絆を深め合えるとても大事な場所です。

違う高校に進学し、疎遠になってもおかしくなかった幼馴染たちと会える場所です。

一つの目標に向かって一緒に頑張るという経験は、学校でも出来るますが、同じ地域、環境で育ち同じことを一生を通して活動することは、なかなか出来ることではないと思います。

一生大切に出来る友だちに私はもう出会うことが出来ませんでした。そして子ども六斎の活動を通して、その絆を確かなものにしました。

からも子どもたちにとって大切な存在であり続けられるよう自分に出来ることを精一杯頑張っています。

「子ども六斎会」の発足により、再び活動が盛んになりつつあったが、近年参加する子どもも減少する。市内全体に目を向けても戦後以降、六斎念仏の衰退は続いている。また最盛期には吉祥院地域内でも七組の六斎組があったものの、現在では菅原組を残すのみとなっていることから衰退傾向は窺い知れるであろう。

この厳しい状況をいち早く感じ取っている一人が「美優」である。彼女は、責任感が強く、周りの状況をしっかりと捉え、すぐに行動に移せる。

伝統芸能を受け継ぐ大切さ、継承と発展に、自分たちはどのような行動が必要なのか、既に彼女の頭の中には、はっきりとした考えが描かれている。

獅子の如く代表 石田房一

洛南中で六斎歴史報告

京都市南区吉祥院地域に古くから伝わる民俗芸能の「吉祥院六斎念仏踊り」の歴史などを調査研究する吉祥院六斎歴史研究会(愛称/獅子の如く)が、四月一日、洛南中学校の職員研修会で、研究員の清水美優(鳥羽高三年)、西

片里紗(塔南高三年)が六斎の歴史的意義「差別との闘いが伝承を支えた」というテーマで講演を行いました。

研究会(獅子の如く)は、数少ない六斎保存会の若手会員や高校生、大学生を中心に六斎研究活動を本格化させ、対外講演

など、六斎の歴史的意義を地元に伝えるなどの活動を行っています。

高校三年生になった彼女たちは、吉祥院小学校の時に、学習施設で「すそ野学習」の取り組みを通して、吉祥院地域に伝わる民俗芸能「吉祥院六斎」の歴史を学ぶ中、自身が後継者になろうと「子ども六斎会」に加入し、継承・発展に取り組んできました。

彼女たちは「私たちが卒業した中学校で、日頃の六斎についての調査研究活動を報告出来たことが嬉しい。でも少し緊張しました。」と話していました。

講演では、吉祥院六斎念仏踊りには、どのような歴史が隠されているのか。千年近く続く伝統芸能が今に伝えるものは何か。「吉祥院六斎と人権」について先生方と一緒に考えました。

藤井校長から「地元の伝統文化の吉祥院六斎に目を向けるところが大事。素晴らしいプレゼンだった。講演を依頼して良かった」と言葉を掛けて頂きました。

他の先生からも「吉祥院六斎に、差別の歴史が隠されているとは知らなかった」「六斎を守って行くという気持ちが凄く伝わった」「ぜひ六斎奉納の本番を見たい」と感想を頂きました。

ありがとうございました。

獅子の如く

私たちは、重要無形民俗文化財吉祥院六斎念仏踊りの「伝承・発展」を応援します。(応援する企業等を募集しています)

ろばた海鮮厨房 Jyu-Jyu

店主 濱口 翔大

京都市南区唐橋平垣町18武部ビル2F
18:00~21:00 (LO) 日曜定休
TEL 075-661-0029

JR西大路駅前

NPO法人ふれあい吉祥院ネットワーク

理事長 野村良博
副理事長 鈴木敏夫
専務理事 石田房一
事務局長 關 正雄

獅子丸くん

こころふれ愛 夢づくり 吉祥院
安心して暮らせるまちづくり

京都桂美味しいケーキ

パティスィアウス

京都市西京区川島有栖川町123
営業時間 10:00~20:00
TEL 075-394-4055
ph. cake@pandms.com

阪急桂駅西口・カトリック教会前